

ヤンゴンかるたプロジェクト

HP : <https://yangonkaruta.jimdofree.com/>

紹介動画を見る▶

団体概要

ミャンマーに関わりをもつ16歳から25歳を中心とした若者のグループ。日本の伝統文化である「かるた」を通してミャンマーの文化、そこで生きる人々の命のストーリーを伝えるとともに、クーデターで奪われた日常や教育について問いかける。国際社会の中で、自分たちに何ができるのかを考える取り組みをしている。

支援対象

小学校/中学校/高等学校/特別支援教育/その他:PTA・教職員研修等

活動内容・活動状況

主な活動

- 千葉県浦安市小学校 異文化理解講座・キャリア教育講演会
- 鎌倉市・東大阪市・足立区の支援級での異文化理解講座
- 国際基督教大学高等学校、東京女子大学、神田外語大学で講座
- ウクライナとのコラボイベント
- 子ども食堂×異文化理解講座など 多数

受賞歴

- 国連 Youth UNHCR みんなの未来そうぞうコンペ～「共に生きる」こと～最優秀アイデア賞
- ボランティアスピリットアワード 2023 年中学生の部 全国賞 など

対応可能時期

ご相談で決定

必要経費

交通費・レンタカー代(ミャンマーの楽器を運ぶ場合)、その他

会場・定員・必要備品等

教室・体育館・和室など、最大100名。
プロジェクター・スクリーン・マイク・スピーカー

メンバー

野中 優那(国際基督教大学)
石川 航(立教大学大学院博士課程後期)
野中 茂壮(高校生)他

文化を体験する

立小学校で、異文化理解の出前授業を行っています。
ンゴンからたて異文化を知った後は、
衣装である「ロンジー」を着てみたり、
民謡の「サウンガウ」を弾いてみたり、
東アジアの通貨を見比べ、触ってみたり・・・。
異文化に「触れる」体験を実施しています。



異文化 理解

ミャンマーのこと れくらい知ってる？

ミャンマーの人口、面積、多様な民
宗教、そしてお米の生産量まで、
とと比較しながら楽しく学びます。
タブレットを利用したKahootクイズ
楽しみながら基礎情報を確認で
学校でのICT活用事例として
です。

ICT活用

近代化によって かわれるもの

ミャンマーで多くの人が愛しているも
それは「タナカー」と呼ばれる美容
用品。昔字で書をするように、タナカ
の木を細かく砕き、ペースト状にして
います。日焼けや虫刺され、ニキビに
して予防効果があるそうです。
年、H&Mなど衣料の工場では、タナ
カが商品の跡についてしまったり、粉
塵機をつまらせてしまったりすること
あるため、禁止されています。
現代化によって失われている一面
あります。



でも戦いは やめない



日本のダルマに似たこの人形は、「ピッタインダウン」と呼ば
れるミャンマーの縁起物。「投げるたびに立つ」という意味の
ミャンマー語です。

紛争を知る

クーデター発覚後、集団で抗議活動をしていると、国軍に撃た
れて殺されてしまうので、道路にリカちゃん人形やマネキン、
ぬいぐるみを置いて個人のデモをしました。ピッタインダウン
も、不屈の象徴として置かれていました。
命を守る、でも戦いはやめない。ミャンマーの若者たちの闘い
の闘い方がここに見られます。

今日の 学びが 未来を創る 探究



ディーゼルなのはなぜ？ 料理から知るお国事情



多文化共生



様々なバックグラウンドを 持つ仲間たち

クーデターを経験した10代、ミャンマー
語を学ぶ学生、日本に長く暮らすミャン
マー人やロヒンギャ民族、難民の方な
ど、人種や世代を超えてともに活動して
います。それぞれの背景からお話する
ことができます。

クラウドファンディングで 200%を達成

300人以上の方から、約300万円のご支
援を受けて、700個のかばんを制作。
ミャンマーの女性支援をしている団体と
手織りのコラボバッグも作成しました。



行動につなげる

平和とは何か

15歳がみた
ミャンマーの
クーデター
動画をご覧ください



担当者より一言

講師は15歳でクーデターを経験しています。同世代
だからこそ、わかりやすい言葉で、政治的な偏りなく、
平和と人権について共に考え、対話することを目的と
しています。